

13時00分 《特別講演》 — 座長 — 猪飼祥夫（支部長）

野村オールドクリニックについて 医学資料の保存と地域活動

演者 野村医院院長 野村信介 先生

14時10分

— 座長 — 三鬼丈知

11. 艶本『風流色図法師』に引かれる内景図について 永塚憲治（函館市）
12. 都築博士と原爆症 飯塚修三（西宮市）
13. 結核予防指導看護婦の育成はじまり 鈴木紀子（東京都）
14. ウィリアム・アンダーソン『看病要法』（明治12年）にみる
病人のための西洋料理法 平尾真智子（京都市）

15時20分

— 座長 — 島山奈緒子

15. 永富独嘯庵の生涯 ～ 長府御領砂糖製作一件とその顛末について
今井 秀（豊中市）
16. 幕末明治期の漢方医学と西洋医学：新資料の『西洋駁義』を中心に
向 静静（立命館大）
17. 幕末における漢方と蘭方の対立構造 — 伊藤鳳山『漢蘭酒話』を中心に
関屋成彰（京都市）
18. 天回医簡にみる経脈考 猪飼祥夫（京都市）

16時30分 閉会の辞

支部長 猪飼祥夫

《紙上発表》

1. 小野妹子医書将来考 多田伊織（奈良市）
2. 権力者と西洋医学の導入 — 稲葉美濃守正則（1623～96）の場合
ミヒエル・ヴォルフガング（福岡市）
3. 神経発達症支援組織 Bryggan の活動 2017 小野尚香（日本福祉大学）
4. 森鼻宗次『皮下注射要略』（明治六年）にみる注射術の夜明け
田中祐尾（八尾市）